

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.48

2021 11月 - 2022 1月

2021 11/10 発行

TAKE FREE

The Symphony Hall Silvester Concert

2021

ザ・シンフォニーホール
シルベスターコンサート 2021

Sinfonia

シンフォニア



日本センチュリー交響楽団



ソプラノ
伊藤 晴



テノール
宮里直樹



バリトン
大山大輔



指揮
角田鋼亮



オルガン
富田一樹

Close Up

卒寿 外山雄三&レジェンド

elegy 横坂 源 チェロ・リサイタル 2022

ほか

- 02 卒寿 外山雄三&レジェンド
- 06 ベスト・オブ・アリア ～ある晴れた日に～ 伊藤 晴 ソプラノ・リサイタル
- 08 elegy エレジー 横坂 源 チェロ・リサイタル 2022
- 09 ライト・シンフォニックコンサート ～大人の贅沢～
- 10 仲道郁代×4大ソナタ
- 11 三浦一馬キントート2022 熱狂のタンゴ
大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ vol.17
- 12 川井郁子 シンフォニック・バレンタイン ～愛とスケートの名曲たち～
(名曲シリーズ) 大阪フィル×ザ・シンフォニーホール
ソフレ・シンフォニー Vol.17
- 13 日本センチュリー交響楽団ハイドンマラソンHM.26 「バリシンフォニー」
守山俊吾 傘寿記念コンサート
- 14 ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート 2021
- 18 The Symphony Hall Big Band Vol.16 ベストヒット・オン・ファイヤー!
- 20 関西フィルハーモニー管弦楽団「第九」特別演奏会
井上道義 指揮 躍動の第九
第九 de クリスマス
21世紀の第九
- 22 オールスター 紅白オペラ歌合戦 2021
- 23 アヴェ・マリア ～聖夜と月～ 砂川涼子 ソプラノ・リサイタル
- 24 ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2021
古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック スtrings「愛のクリスマス」
- 25 オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ
プロジェクトマッピングコンサート
ニューイヤー祝祭コンサート 2022
- 26 ABCテレビ主催公演・イベント情報
- 30 日本センチュリー交響楽団
- 32 音楽を愛する団体が集い、夢を発信する「ザ・シンフォニーホール」
- 33 ホールトピックス
- 34 堀江政生のシンフォニア・アワー Vol.48
- 35 Concert Calendar 2021.11～2022. 1

ザ・シンフォニー チケットセンター 窓口・館内プレイガイド営業再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として営業を休止しておりました、窓口・館内プレイガイドでのチケット販売を再開させて頂くことに致しました。引き続き、感染症拡大防止策を徹底するべく短縮営業となりますが、皆様のご利用をお待ちしております。

----- 営業時間 -----

お電話

11:00～16:00 (火曜定休)

窓口 ※ホール正面入口の裏側

11:00～16:00 (火曜定休)

★Sinfonia会員先行予約を開始する
11月25日(木)～12月1日(水)の期間は、
「お電話」と「窓口」の営業時間を
10:00～18:00とさせて頂きます。

館内プレイガイド ※公演日のみ営業

公演開場～開演までの間

WEB

24時間受付

Sinfonia会員先行期間中の公演は、電話・WEBのみのご予約となります。また、チケットはすべて郵送でのお届けとなります。窓口、館内プレイガイドでのご予約、お受取りはできませんので、ご了承ください。

ザ・シンフォニー チケットセンター 年末・年始休業のお知らせ

ザ・シンフォニー チケットセンターは下記の期間、年末年始休業とさせていただきます。皆様には大変ご不便をおかけ致しますが、何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

電話・窓口・館内プレイガイド

2021年12月28日(火)～2022年1月5日(水)

尚、上記期間もWEBでの販売は24時間受け付けておりますので、是非ご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

2022年、The Symphony Hallは 開館40周年を迎えます。



11月のSinfonia会員先行予約

●先行予約:11月25日(木)10:00～
※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。
※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話:ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)
新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB:https://www.symphonyhall.jp/

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録
ザ・シンフォニーホール ホームページ
https://www.symphonyhall.jp/ からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録
定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonyhall.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールのお催事、サービスの改善、改修を目的とした調査・研究のためのアンケートの送付(5)当館・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものといたします。○お客様の個人情報、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙の一枚「ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート 2021」

The Symphony Hallへご来場のお客様へ

引き続き感染症拡大防止対策へのご協力をお願い致します。

お客様へのお願い

ご来場頂くお客様に安心してコンサートを楽しんで頂けるよう、下記の内容にご協力をお願い致します。

<p>マスク着用</p> <p>館内では上演中も含め常時マスクの着用をお願い致します。フェイスシールドをご着用の方は、マスクも併せてご着用下さい。マウスガード、透明マスクでのご入場はお断り致します</p>	<p>体温測定</p> <p>サーモグラフィーや検温器により、37.5℃以上の発熱がある方はご入場をお断り致します</p>	<p>手洗い・手指の消毒</p> <p>こまめな手洗い、手指の消毒をお願い致します。アルコール消毒液がご利用頂けない方はご自身で代替の除菌シート等をご準備下さい</p>	<p>体調確認</p> <p>2週間以内に発熱や咳、鼻汁、倦怠感、味覚・嗅覚障害、その他感冒症状があった方はご来場をお控え下さい。ご来場後も体調が優れない場合は、無理をせずスタッフにお声がけ下さい</p>
<p>来場記録シート</p> <p>当日券をご購入のお客様やご購入者様とご来場者様が異なる場合はご記入下さい。また、チケット券面にご連絡先の記入欄がある場合は、ご入場前に必ずご記入をお願い申し上げます</p>	<p>館内はお静かに</p> <p>大きな声での声援や、館内での会話はお控え下さい</p>	<p>ご自席でのご鑑賞</p> <p>他のお客様のお座席や、使用していないお座席へのご移動は、他のお客様のご迷惑となりますので、固くお断り致します</p>	<p>追跡システムのご登録</p> <p>●大阪コロナ追跡システム ご来場の際に、館内に掲示しているポスターのQRコードより、ご連絡先の登録をお願い致します。公演ごとに、ご登録が必要です</p> <p>●新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA) 厚生労働省が提供している、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA)のダウンロードにご協力をお願い致します</p> <p>iPhoneの方はこちら App Store Androidの方はこちら Google Play</p>

----- 政府のガイドラインに沿った上記の感染予防対策にご協力頂けない方はご入場をお断り致します。予めご了承下さい。 -----

新型コロナウイルス感染症の影響に伴うQ&A

- Q.**カフェが休業しているため、軽食を持っていくと思うのですが、飲食ができるスペースはありますか？
- A.**客席およびロビーを含め、館内での飲食は御遠慮頂いております。なお、水分補給のためのお飲み物は、ペットボトルなどフタのある密閉容器に入れてお持ち下さいますよう、お願い申し上げます。
※館内に設置しているウォーターサーバー及びウォータークーラーのご利用も休止させて頂いております。
- Q.**貸出車椅子の受付はしていますか？
- A.**貸出車椅子のご利用は受け付けておりますが、公演前日までに各主催者へご予約された方に限らせて頂いております。また、これまでホールスタッフが行ってまいりました、お一人でご来場されるお身体が不自由なおお客様のご案内も、接触を避けるため控えさせて頂きます。ご案内が必要な場合は必ず介添人の方にご来場をお願い致します。
- Q.**出演者に花束やプレゼントを渡したいのですが、預かってもらえますか？
- A.**政府のガイドラインに従い、現在はホールでのお預かりは行っていません。各主催者にお問い合わせ頂きますよう、お願い致します。
- Q.**すべての公演が間隔を空けた座席の配置になっていますか？
- A.**公演によって、座席の間隔を空けている場合と空けていない場合、どちらもございます。詳しくは、各主催者にお問い合わせ頂きますよう、お願い致します。
- Q.**コンサートには行きたいのですが、客席に人が多いと不安です。どのような対策をされていますか？
- A.**ザ・シンフォニーホールではすべてのお座席を公演毎に消毒・除菌しております。また、「エアバスター」※を館内全容積に対して必要分導入し、客席・ロビー・バックヤードの空気清浄、除菌を徹底的に行っております。ご入場口ではすべてのお客様に検温、消毒を行っていただいております。館内はお客様のお手が触れるあらゆる箇所の消毒・除菌を強化。さらに客席内では常時約10分ですべての空気を入れ替え、換気しております。その他にもより安心してコンサートをお楽しみ頂くための取り組みを行っておりますので、詳しくはザ・シンフォニーホールのホームページをご覧ください。
※オゾン除菌脱臭器。オゾンの強力な酸化作用でウイルスを分解、不活化します。

本誌は、10月20日までの情報をもとに作成致しました。新型コロナウイルス感染症に関する政府の要請により、記載公演が中止もしくは延期となり、内容が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。



チエロ 堤剛

ケストラのあゆみと重なる。
1931年、東京生まれ。声楽家で音楽教育者の父のもと、幼少からピアノを習い、音感教育を受けた。東京音楽学校（現在の東京芸術大学）に進むと作曲を学び、在学中に『クラリネット、ファゴット、ピアノのための』(三つの性格的断片)で第20回音楽コンクールに入賞。卒業と同時に、NHK交響楽団の打楽器練習員として入団した。1954年にはN響の指揮研究員となり、2年後には指揮デビューを果たす。

は、盟友の堤である。
終戦から15年。海外渡航歴のある日本人がわずかだった1960年、N響は日本のオーケストラで初めて海外ツアーを敢行した。堤は68日間で12カ国24都市を回る世界一周演奏旅行のソリストとして同行し、外山と長い時間を過ごした。

その頃から付き合いがあるの
「私は高校生の頃からN響に呼んでいただくようになったのですが、N響副理事長を務められた有馬大五郎先生が『これは日本人の指揮者を育てていかなければならない』という考えで、指揮研究員という制度を作りました。その最初が外山先生と故岩城宏之先生。お二人は仲がいいけれど、すごく対照的。N響初の海外旅行でも、私はずっとお二人と一緒にしたが、外山先生はウイーンに留学していたので、『ウイーンの人はいかなるうに弾くよ』とか『ド



ヴァイオリン 前橋汀子

ヴォルガーはウイーンに住んでいた時期があるから、こう演奏したらもっともっと近づくんじゃなかな」と、細かくアドバイスをくださいました。それが今も私の中で生きています」

この時、アンコールとして演奏されたのが、外山作曲の『管弦楽のためのラプソディー』。有馬から手渡された日本の民謡集を元に、八木節や炭坑節などのモチーフをオーケストラ用にアレンジした作品だ。当初は20分ほどの長さがあったが、指揮を任された岩城が「長いなあ」と10分足らずにカットしたのには有名なエピソードである。当時の現地での反響を、堤はこう振り返る。

トしたのは有名なエピソードである。当時の現地での反響を、堤はこう振り返る。
「アンコールでラプソディーを演奏すると、本当に大受けでした。海外の方は、初めて日本の節を聞かれたと思いますが、太鼓も効果的に使われていますし、もう日本のお祭りですよ。外山先生はお客様の反応を見て、気恥ずかしそうにしていました。そこを、岩城さんが『コンポーザー！』とステージに呼んでいました」

外山は指揮者として海外の舞台に立つと同時に、作曲家としてもその名を世界に広めた。堤もミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位となり、ともに世界へ羽ばたいた。
指揮の時も作曲家の視線で音楽を感じていらっしゃる——前橋汀子

前橋は、世界で活躍する日本人ヴァイオリニストの先駆け。1979年にN響の1カ月間のアジアツアーにソリストとして同行し、岩城の指揮でチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲、外山の指揮で外山作曲のヴァイオリン協奏曲を弾



ピアノ 清水和音

いた。行き先は中国、タイ、マレーシア、インドネシアなど。
「当時、現地にはまだちゃんとしたホールもなくて、湿気もすごくて。私は途中で日本に戻って、また合流したりしましたが、本当に大変でした。その時に外山先生のコンチェルトを弾かせていただいたのが、一番思い出深いかな。その後、先生は長く仙台フィルで音楽監督を務めていらつしましたが、そこでもいろんな曲で一緒にさせていただきました」と懐かしそうに語る。

幾度となく協演を重ねるなか



外山雄三

卒寿

©飯島 隆



Interview

グレート・マスターズ・ジャパン・スペシャル

撮影：鈴木久美子 撮影協力：ヤマハアーティストサービス東京

日本現役最年長の指揮者で作曲家の外山雄三が、90歳を迎えた。卒寿を祝うために、チエロの堤剛、ヴァイオリンの前橋汀子、ピアノの清水和音という日本を代表するレジェンドたちが集結する。マエストロと縁の深い3人が、思ひ出を語り合った。

祝祭の場に華を添える堤剛、前橋汀子、清水和音。いずれも外山の信頼厚いソリストたちだ。当初、公演は2021年5月10日、外山90歳の誕生日に予定されていたが、コロナ禍を考慮して延期に。仕切り直して、2022年春に開催することとなった。

「外山先生が90歳になられた。現役でこんなに長く指揮者として、作曲家として続けていらっしゃるなんて。本当に素晴らしいことですよ」と前橋が口を開くと、清水も大きくうなずきながら、ユーモアたっぷりにこう続けた。

「そうそう。だいたいオーケストラって指揮者のことが嫌いでしょ(笑)。外山先生はお世辞を言うタイプではないですから。それでも90歳まで第一線でオーケストラの前に立っている。やっぱり愛され続けてきた証ですよ」

管弦楽のためのラプソディーは海外で大受けでした——堤剛

外山の音楽人生は、日本のオー



卒寿 外山雄三



& レジェンド

音楽的教養があつて、耳がとても良くて、いつも音楽の核心を突く。外山先生の特別なところは、やっぱり人間的な魅力なのだと思います。

で、前橋が感じてきたのは外山の作曲家の目線、だということ。

「先生は指揮をしても、やっぱり作曲家の目線で音楽を感じているんですよ。これは（大阪交響楽団首席ソロ・コンサートマスターの）森下幸路さんから聞いた話ですが、今も練習中は立ったままなのだそうです。そして『楽譜に忠実に。よく楽譜を見なさい』と語る。クレッシェンドであれば、どこからスタートしているのか。そういう楽譜の読み方を細かく教えるそうです。たどり着くべきところ、やはりそういうところなのだと、気づかされますね」

指揮と作曲。両方できるなんて超人ですよ——清水和音

清水は20歳でロンドン・ティンボーン国際コンクール・ピアノ部門で優勝した日本を代表するピアニスト。外山との最初の協演が20代前半だということから、もう40年近い付き合いになる。

「最初は顔を見て怖そうだな、という印象でしたよ。でも、最近はずかしくしり屋なのかと思っっています。素直じゃないというかなのかもしりませんね。音楽的なことで、僕は先生から何かを言わ

れたことはないです。練習も一度通して終わり。おそらく、音楽観みたいなものが近いんじゃないかと思っっています。先生の指揮は無駄がない。音楽がシュツとしてい

る。僕もそういうのが好きなので、シンパシーを感じています。一緒に食事をして、先生はちょっと意地悪を言ったり、皮肉を言ったりして、実に面白いんですよ。僕の話は、出来の悪い息子ぐらに思っかけているんじゃないかな」と言っ、豪快に笑う。

「僕ね、先生に一回だけ聞いたんですよ。自分の曲を振るってどんな感じですか、と。そうしたらやっぱり『恥ずかしいよ』って言ってました。ラプソディーって、ノリノリの曲でしょう。でも外山先生は練習の時もしかめっ面。だ

けど音はちゃんとノリノリになっている。そのギャップが面白くてね。ご本人はたぶん恥ずかしいんでしょね」と外山のチャーミングな素顔を明かす。

「作曲が出来て、指揮も出来るって、大変なこと。両方成功したのって、ピエール・ブレーズくらい。作曲は音楽家のなかでも芸術的素養が一番高い仕事で、指揮者は尊敬されないし成立しない仕事。プ

レーヤーがなぜかそう演奏したくなる、というものを指揮者は持っているといけません。この一番難しい二つの仕事を90歳まで継続しているなんて、超人ですよ。それができているのは……やっぱり先生は生き物としての力が強いんですよね（笑）」

外山は音楽とともに、オーケストラとともに、人生を送ってきた。名手たちは、三者三様に外山の變化を感じ取っている。

まずは清水の証言から。「先生は若い頃は自分を律して、優秀に仕事をしようという思いが強かったのだと思います。年を重ねて口マン派の部分が表に出てきましたし、だんだん自分らしさが出てきたんじゃないでしょうか。人として成熟すると、指揮者は立っているだけでも、成熟した音楽になる。先生の指揮は、そっけない棒のよう

で、一見愛想がないのですが、全部わかっていことが伝わってきます」

堤は、図抜けた才能を感じている。「かつて岩城先生がうわーっ」と感情を表出させる指揮をして、外山先生はぐっ」と我慢するタ

イブでした。だんだん年とともに、もう抑える必要がなくなったのだらうなと私は解釈しています。私

が先生の指揮を好きなのは、気品があるから。ウイーン的な雰囲気とも言えるかもしれません。私の70歳の誕生日にすぐきれいな曲を書いてくださったのですが、楽譜に「尊敬する友人 堤さんの70歳のお祝いに」と書いてくれた。温かいお気持ちが伝わってきて、うれしかったですね。ある海外の指揮者が「指揮者の腕には音楽が詰まっていけないといけない。それを動かすことによつて、音を引出す。指揮者にはその能力がないといけません」と言っていました。そういうものを外山先生はお持ちなのだと思います」

前橋は、人としての魅力があるのだと力を込める。「外山先生と岩城先生とは良きライバルでしたが、全然性格が違いましたね。外山先生は時々振って、岩城先生の控えとしていらつしやる場面も多かった。そういう体験をされて、最終的には大きく花開いた。こんな素敵なことではないですよ。音楽的教養があつて、耳がとても良くて、いつも音楽の核心を突く。だから尊敬される。指揮者は何を言われても音楽を引き出す力がな

いといけない。外山先生の特別なところは、やっぱり人間的な魅力なのだと思います」

「もう一度、今回のために見直して、挑戦しようと思っます。名曲って難しいんですよ。何回弾いても新しい気つきがある。私としては、一日でも長くステージで弾き続けたいと思っっています。そのためは体力がないといけない。そういう前向きな気持ちで弾きたいですね。若い頃は『またメンコンね』と結構気安くステージで弾いて

ました。今は1回1回、『ああ、これが最後だ』という気持ちでいます。だから、外山先生と弾けることを宝物のように考えて、待ち

待たされた佐治敏三は仲が良く、原さんが大阪で作ったから、佐治は『自分は東京で』とサントリーホールを作ったということもあつたようですね。ザ・シンフォニーホールは大きいけれど、クリアで室内的な響きがありますね」と語る。

「新しい気つきがあるから、弾けば弾くほど新しい気つきがあるから」

今回外山が指揮するのは、自身が2016年からミュージック・アドバイザーを務め、現在は名誉指揮者となった大阪交響楽団。ソリスト3人は、外山が指定したコンチェルトで彩りを添える。

前橋はメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲 第1楽章。「私が一番よく弾いているコンチェルトですが、弾けば弾くほど難しい。もう一度、今回のために見直して、挑戦しようと思っます。名曲って難しいんですよ。何回弾いても新しい気つきがある。私としては、一日でも長くステージで弾き続けたいと思っっています。そのためは体力がないといけない。そういう前向きな気持ちで弾きたいですね。若い頃は『またメンコンね』と結構気安くステージで弾いて

ました。今は1回1回、『ああ、これが最後だ』という気持ちでいます。だから、外山先生と弾けることを宝物のように考えて、待ち

待たされた佐治敏三は仲が良く、原さんが大阪で作ったから、佐治は『自分は東京で』とサントリーホールを作ったということもあつたようですね。ザ・シンフォニーホールは大きいけれど、クリアで室内的な響きがありますね」と語る。

なのだと思います」

ザ・シンフォニーホール40周年 変わらぬクリアな響き

卒寿記念公演を開催する2022年は、ザ・シンフォニーホール40周年の記念イヤーでもある。日本初のクラシックコンサート専用ホールであり、「残響2秒」は画期的だった。名器とも言えるホールの舞台に、レジェンド3人は開館当初から立ち続けてきた。

「もう40年ですか。私、オーブニングで朝比奈隆先生の指揮で弾かせていただいたんですよ」と驚く前橋は、「昔は（ホールを建設した朝日放送社長）原清さんの専用の席があつたんですよ。40年経ってまた弾けるなんて、うれしいですね」としみじみ語る。

清水も「ザ・シンフォニーホールが出来た時は衝撃でしたよ。おかげで、日本のホール全体の底上げにつながった。ホールインフラの先がけになった。外国の演奏家も頻りに来るようになった。もう感謝ですよ。昔はホールの隣にホテルがあつて、部屋で燕尾服に着替えて楽屋口から入ったり、ゲネプロが終わって部屋に戻って仮眠をとったり。そんなことが出来るホールも他にはなかった」と振り返る。

サントリーホール館長でもある堤は、「原さんとサントリー社長

日本のクラシック音楽界に記念碑を打ち立てた外山。その特異な才能を、巨匠への尊敬と愛情にあふれる3人の名手たちとともに、ザ・シンフォニーホールで味わってみたいかがたろうか。

（取材・文 出水奈美）

【指揮】外山雄三、太田 弦 【管弦楽】大阪交響楽団
【ヴァイオリン】前橋汀子 【チェロ】堤 剛 【ピアノ】清水和音
外山雄三:前奏曲(指揮:外山雄三)/チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23より 第1楽章(指揮:外山雄三)/ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 口短調 op.104より 第3楽章 (指揮:外山雄三)/外山雄三:管弦楽のためのラプソディー(指揮:太田弦)/メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64より 第1楽章(指揮:外山雄三)/ワーグナー:楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲(指揮:外山雄三)
2022.4/23(土) 2:00PM
S 8,800円 A 6,600円 B 4,400円 プレミアム 11,000円 (税込)
【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】公益社団法人大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール
先行予約:11/25(木) 一般発売:11/28(日)

Interview

ソプラノ 伊藤 晴

穏やかな春の 晴れた日に響く 至高のアリア

「春を待つように心待ちにしている!」という
3月開催のザ・シンフォニーホールでの初リサイタル。
今回はシンフォニアでのインタビューも初登場!
ソプラノ歌手 伊藤 晴の歌との出会いから
本公演についてまでを語るインタビューをお届けします。



撮影:キセキミチコ

ベスト・オブ・アリア ~ある晴れた日に~ 伊藤 晴 ソプラノ・リサイタル

大阪では初めての
リサイタル。
名刺代わりとなるような
プログラムを
考えてみました。

明るく晴れやかな
心に光が差し込むような歌

気鋭のソプラノとして各地で
ひっぱりだこの人気者。今もっ
とも上昇気流に乗っているひと
りが、伊藤晴だろう。まさに明
るく晴れやかな名前そのままに、
数々のオペラで私たちの心に光が
差し込むような歌を披露してくれ
ている。

その伊藤が、ザ・シンフォニー
ホールに待望の初登場。2022
年3月21日に、得意のオペラア
リアや歌曲を取り混ぜたリサイタル
を開催する。

伊藤は、三重県出身で、武蔵野
音大大学院へと進学した。

「ピアノを三歳の頃から習って
おり、ピアノの先生になるのが夢
でした。大学受験の際に音楽の指
導も受け、音楽科を勧められたこ
ともありましたが、転機は、卒業
のためのファイナルコンサートで
歌ったことです。大勢の前で歌う
ことの気分のよさにすっかり魅せ
られ、音楽を究めようと考えまし
た。ピアノはオペラ歌手になった
今でも役に立っています。新しい



オペラを歌う際、まずはピアノス
コアですべて弾きながら、自分の
歌うところや他の歌手の歌なども
確認していくようにしています」
《蝶々夫人》などで好演

大学院修了後は、ミラノ、パリ
でも研鑽を積んだ。オペラ歌手で
フランスに留学するケースはあま
り多くはないが、かねてからフラ
ンス語やフランス音楽にも関心を
寄せていたという。

「パリでは素晴らしい先生をこ
紹介いただき、発声を見直すこと
ができました。フランス語は大学
時代から興味を持っていました。
いずれはドビュッシーやプーラン
クなども歌ってみたいと考えてい
るのですが、フランス音楽にはと
ても繊細で、自由自在な魅力があ
ると思います。フランスオペラも

素晴らしいものが多く、いつか、
マズネの《マノン》も歌ってみた
いですね。《マノン》はコケティッ
シュであったり、純粹であったり、
幅広い表現を求められる難
しい役柄ですけれども」
これまで《椿姫》《愛の妙薬》
《蝶々夫人》などに出演し、好評
を博してきた。

「2019年の《椿姫》のヴィ
オレッタは、初めてタイトル・
ロールを任せられた公演で、節目
になるものでした。またコロナ禍
の2020年の《カルメン》では
ミカエラを歌いましたが、ブラ
ヴォーなどの声かけができないな
かで、お客様が本当に大きな拍手
をくださったことにとっても感銘を
受けました」

**プログラムは伊藤の多面的な
魅力が発揮される**

今回、ザ・シンフォニーホール
でのリサイタルは初めてとなる
が、今年の年末に同ホールでのジ
ルベスターコンサートにも出演予
定だ。

「大学時代は関西に進学したお
友達も多かったのですが、大阪には結
構遊びにいきました。大阪はやほ
り気質が明るい! ザ・シンフォ
ニーホールは、歌っていても
素晴らしい音響だと伺っています
ので、そんな素敵な舞台に立てる
のが、今から待ち遠しいです。大



どがお気に入りだ。

阪で年越しというのも、初めての
経験なので、本当に楽しみです」
オフの日は、レジヌ・クレス
パン、ミレッラ・フレニー、そし
てレナータ・スコットら往年の名
歌手の録音を聞いたり、ドラママ
映画を見たりして気分転換するこ
とも多いという。日本の昔のドラ
マやジュリエット・ビノシュ他フ
ランスの名女優が主演して大ヒッ
トした「トリコロール」三部作な

「フランス映画は、発音の美し
さやフランス女性のエレガントな
所作など、オペラ歌手の立場でも
とても参考になりますね」
リサイタルのプログラムはオペ
ラアリアから、アーンの《リラに
来るうぐいす》などフランス歌曲、
中田喜直の《さくら横ちょう》な
どの日本歌曲まで、伊藤の多面的
な魅力が十分に発揮されるものと

なる。

「大阪では初めてのリサイタル
ですので、名刺代わりとなるよう
なプログラムを考えてみました。
これまで歌ってきたオペラのアリ
アと3月の公演なので、春にちな
んだ歌曲を選んでいきます。春のひ
とときに、前向きになれるような
華やかな空間をみなさまと共有で
きたらとても嬉しいです」

(取材・文 伊藤制子)

[ソプラノ]伊藤 晴 [ピアノ]仲田淳也

ブッチーニ:歌劇《蝶々夫人》~「ある晴れた日に」/歌劇《ジャンニ・スキッキ》~「私のお父さん」/歌劇《ラ・ボ
エーム》~「私の名はミミ」/ビゼー:歌劇《カルメン》~「何を恐れることがありません」/ヴェルディ:歌劇《シチ
リア島の夕べの祈り》~「ありがとう、愛する友よ」/グノー:歌劇《ファウスト》~「宝石の歌」/シャルパンティ
エ:歌劇《ルイズ》~「その日から」/アーン:「リラに帰るうぐいす」、「春」/ロッシーニ:「約束」/中田喜直:
「さくら横ちょう」、「たんぼほ」ほか

2022.3/21(月・祝) 2:00PM

全席指定 4,400円(税込)

お問い合わせ) ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

ライト・シンフォニック コンサート ~大人の贅沢~

ミュージカル俳優 岡幸二郎



昨年続き、ゲストに岡幸二郎が登場。
さらに深化したステージに期待!

**華麗かつ力強い熱唱をリアルに
体感できる絶好の機会**
ザ・シンフォニーホールが2017年、開館35周年記念として大阪交響楽団と始めた人気シリーズ「ライト・シンフォニックコンサート」。大人の贅沢をテーマに、毎回豪華で上質な大人のステージを繰り広げているが、今回もファンを期待を上回るステージが展開されるのは間違いない。普段、クラシック音楽に接する機会が少ない大人の音楽ファンにとっても、気軽に楽しむことができる場になれば、と企画した同

ホールの定番コンサート。これまでの出演者は、クラシックギターリストの村治奏一やバンドネオン奏者の三浦一馬といった美力派ぞろい。さらに、一昨年から2年連続でステージに立ったのは、クラシック音楽のみならず、ロックやポップスのファンの間でも人気の高い女性ヴァイオリニストの川井郁子とあって、ファン層も年々、広がりを見せている。そんな同コンサートだが、前回に続き、ミュージカル俳優の岡幸二郎が登場する。劇団四季のスターとして人気を博し、退団後は

1994年に『レ・ミゼラブル』のアンジオルラス役でオーディションに合格。以降、この作品で足掛け17年間活躍。『オペラ座の怪人』や『ミス・サイゴン』などでも存在感を發揮し、ファンを増やした。今回は、彼の十八番といえる『レ・ミゼラブル』の「夢やぶれて」や『オペラ座の怪人』の「ミュージック・オブ・ザ・ナイト」といった定番曲に加え、『ジキルとハイド』の「ア・ニューライフ」や映画、ミュージカルの双方とも超名作となった「サンセット大通り」の「ア



大阪交響楽団

[指揮]横山 奏 [ゲスト]岡幸二郎 [管弦楽]大阪交響楽団
『マイ・フェア・レディ』より君住む街／『ラマンチャの男』より見果てぬ夢／『サンセット大通り』よりアズ・イフ・ウィー・ネバー・セッド・グッバイ／『ジキル&ハイド』よりア・ニューライフ／『レ・ミゼラブル』より夢やぶれて／『ミス・サイゴン』より命をあげよう／『オペラ座の怪人』よりミュージック・オブ・ザ・ナイト ほか
2022.5/21(土) 2:00PM
S 8,000円 A 6,000円 プラチナ 10,000円 (税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール/公益社団法人大阪交響楽団
[先行予約] 11/25(木) 一般発売: 11/23(日)

ズ・イン・ウィー・ネバー・セッド・グッバイ」といった新たなミュージカルの名曲も披露。大阪交響楽団の重厚な演奏と相まって、昨年よりも多彩で深化したステージが楽しめるそうだ。
「残響2秒」という卓越した音響の良さを演奏者の評価も高いホールを揺るがす岡の華麗かつ力強い熱唱をリアルに体感できる絶好の機会でもある。初めての方々もリピーターのみならず、クラシック音楽やミュージカルの素晴らしいさを再認識するはずだ。
(文 産経新聞編集委員 岡田敏一)



Interview

elegy 横坂源 チェロ・リサイタル 2022

前回大好評の「elegy」再び—
「初めて聴いた人も心を打たれるはず」

撮影 鈴木久美子

音をどう作っていくのか
勉強する機会にも恵まれた

横坂源といえば、2017年からスタートしたホール主催「3大協奏曲」への連続出演を皮切りにザ・シンフォニーホールにてステージを重ね、関西のクラシック音楽ファンにはお馴染みとなった俊英。今年の3月には、コロナ禍による1年の延期を経て行われ、好評を博したリサイタル「elegy」の記憶もまだ新しいが、来春再び、同タイトルのリサイタルを開催する。

「弦楽器にとって理想的な響きを約束されたこの場所に、何度も呼んでもらえて嬉しいです。同じステージで演奏を重ねることにより、音をどう作っていくのか勉強する機会にも恵まれ、育てていただいた。前回の「elegy」では前半にフランスやスペインの小品を持ってきて、後半にはラフマニノフが暗闇の時期を脱して光を見出したかのような「チェロ・ソナタ」を中核に据え、再び音楽を聴く日常を取り戻した皆さんに楽しんでもらえたいと思っています。同じテーマで今回もお話をいただいたので、今度は違う切り口でこの大ホールに名曲を響かせたい」

そんな彼がメインに選んだのは、壮絶な人生を生きたピアノの詩人シヨパンが最晩年に作曲した「チェロ・ソナタ」だ。



ロ・ソナタ」だ。

「親友（フランシヨム）のために書き、彼のチェロと自身のピアノとで初演された、シヨパンにとって生涯最後の公開演奏となった作品。第1楽章は意見が合わなくて結局弾かれなかったそうですが、そんなエピソードも面白いし、シヨパンの内に秘めた情熱がほとばしるような、かなり強烈な楽曲です。一緒に演奏するのは青年期に書かれた（序奏と華麗なるポロネーズ）で、どちらも技術的にも、またピアノとのバランスのとり方も難しい。なので、前半でこの難曲2つに挑んで、後半はリラックスした雰囲気でも聴いていただけそうなクライスラーやチャイコフスキーの愛奏曲、アイルランド民謡などを選びました」

もちろんフォーレの（エレジー）もプログラムの軸となる。「チェロの代名詞ともいえる曲

[チェロ]横坂源 [ピアノ]津田裕也
シヨパン:序奏と華麗なるポロネーズ op.3 / チェロ・ソナタ 短調 op.65 / フォーレ:蝶々 op.77 / エレジー op.24 / クライスラー:愛の悲しみ/美しきロスマリン / シヨパン:ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53 [英雄ポロネーズ] ※ピアノ・ソロ / チャイコフスキー:懐かしい土地の思い出 op.42-3 [メロディ] / アイルランド民謡:ロンドンデリーの歌 / ホッパー:ハンガリー狂詩曲 op.68
2022.3/19(土) 7:00PM
全席指定 4,400円 (税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 発売中
[主催] ザ・シンフォニーホール

で、おそらく初めて聴いた人も心を打たれるはず。自分も小学生時代から好きでした。あと母もこの曲を弾くと喜びますね。いろんな作曲家が（エレジー）を書いているので、もしあるとしたら今後にはバトンを繋げていくのもいいですね」
共演ピアニストは、横坂が第2位に輝いた2010年のミュンヘン国際コンクールでも伴奏を務めた津田裕也。
「定期的に共演し、一緒にレパトリリーを開拓している盟友です。お互い年齢を重ねてもずっとこの関係を続けて行きたい。当日は彼のソロ演奏もお楽しみに！」
(取材・文 東端哲也)



仲道郁代 × 4大ソナタ

デビュー・リサイタルの地で、
ピアニスト人生の多くを捧げた
ベートーヴェンのピアノ・ソナタに挑む

©Takii Miyamoto

自らの心血を注いできた
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ

2022年に開館40周年を迎えるザ・シンフォニーホールでは、絢爛豪華なコンサートが予定されている。1月16日には、日本を代表するピアニストの仲道郁代がリサイタルを行なう。

仲道にとって、ザ・シンフォニーホールはデビュー・リサイタルの地のひとつであり、彼女の息の長い華麗な演奏活動において、原点ともいえる存在であるに違いない。

彼女が大きく注目されるきっかけとなったのは、日本音楽コンクールでの優勝である。その後、オーケストラと共演したコンチエルトの演奏がテレビ番組で放映され、彗星のごとく登場した彼女は音楽ファンの圧倒的な支持を得た。その後、さらなる研鑽を積むべく渡欧。エリザベート王妃国際音楽コンクールで入賞、ジュネーヴ国際音楽コンクールで最高位を受賞するなど、世界にその名を知らしめた。

よく練り上げられた企画も仲道の活動の魅力だ。小さな子どもから音楽愛好家や専門家にいたるまで、多くの人々を魅了し続けている。特に、ベートーヴェン演奏をライフワークとし、彼のピアノ・ソナタ32曲全曲演奏に何度も取り



©Kiyotaka Saito

組んでいる。ベートーヴェンと繰り返し向かい合うことにより、自身の世界を深めていると言える。

9年ぶりとなるこのホールでのリサイタルでも、仲道は自らの心血を注いできたベートーヴェンのピアノ・ソナタのみのプログラムを組み、なかでも個性豊かな「4大ソナタ」を選んだ。第8番「悲愴」、第14番「月光」、第21番「ワルトシュタイン」、そして第23番「熱情」は、深い情感とドラマティックな物語を秘めたピアノ・ソナタであり、そのメロディは長い歴史のなかで多くの人々に広く親しまれている。

かつてのインタビュで、仲道は「ベートーヴェンは、人間はどのように生きていくのかといつも自身の作品のなかで問うています」と語った。デビューを飾った

発売中

[ピアノ] 仲道郁代

ベートーヴェンピアノ・ソナタ 第8番 八短調 op.13「悲愴」/ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」/ピアノ・ソナタ 第21番 八長調 op.53「ワルトシュタイン」/ピアノ・ソナタ 第23番 へ短調 op.57「熱情」

2022.1/16(日) 2:00PM

全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

(文 道下京子)

ピアノ没後30周年記念プロジェクト 三浦一馬キンテート 2022 熱狂のタンゴ

4年ぶりキンテート公演が実現!
ピアノの名曲を余すことなく披露する

[バンドネオン]三浦一馬 [ヴァイオリン]石田泰尚
[コントラバス]黒木岩寿 [ギター]大坪純平 [ピアノ]山田武彦

デカリシモ/フーガ9/ペノスアイレスの冬/ペノスアイレスの夏/ペノスアイレスの秋/ペノスアイレスの春/現実との3分間/ルンファルド/レビラード/カリエンテ/ミケランジェロ'70/悪魔のロマンス/ムムキ

2022.5/8(日) 2:00PM

全席指定 5,500円 (税込)

[お問い合わせ] Mitt 03-6265-3201 [主催]日本コロムビア/ザ・シンフォニーホール

先行予約:11月25日(木) 一般発売:12月18日(土)



バンドネオン 三浦一馬

三浦一馬(バンドネオン)が敬愛するタンゴの革命児・ピアノの没後30周年記念企画として、「三浦一馬キンテート」がザ・シンフォニーホールに4年ぶりに登場する。

キンテート(五重奏団)とは、バンドネオン、ピアノ、ヴァイオリン、ギター、コントラバスから成る、ピアノが生涯にわたって探求したバンド編成。メンバーは山田武彦、石田泰尚、大坪純平という三浦が厚い信頼を寄せている名手たち。そして今回は、東京フィルハーモニー交響楽団の首席奏者である黒木岩寿が、キンテートとして大阪では初参加。多方面で活躍する名手は、柔軟な妙技を聴かせてくれるはずだ。

予定演目に並ぶのは、「ペノスアイレスの四季」「デカリシモ」「現実との3分間」など、ピアノの多彩な名曲集。三浦のしなやかな超絶技巧はもちろんだが、力強さと洗練を併せ持った石田のヴァイオリンや、誠実かつ変幻自在の音楽性で共演者からの信頼が厚い山田のピアノなど、5人各々の類まれな音楽性を等しく存分に満喫したい。

ザ・シンフォニーホールの音響と聴き手をかねてから、「ホールにも聴き手にも、独特の品を感じる」と絶賛する三浦。「熱狂のタンゴ」にふさわしい選曲と演奏を繰り広げながら、鬼才ピアノの演奏史に新たな1ページを開いてゆく。

(文 渡辺謙太郎)

0歳児からの“光と映像で楽しむオーケストラ” Vol.17

2年ぶりに復活!待望の開催決定!
ゲストに“だいすけお兄さん”が登場!

[ゲスト]横山だいすけ [指揮]松元宏康 [管弦楽]大阪交響楽団

後日発表

2022.3/19(土) 11:00AM/2:00PM

全席指定 4,000円 (税込)

※大人・子供均一料金 ※乳幼児のお子様(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニーホール

先行予約:11/25(木) 一般発売:11/28(日)



ゲスト 横山だいすけ

大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールが提案する、0歳児からオーケストラの生演奏とプロジェクトエクシジョンマッピングの煌びやかな演出が楽しめるコンサート。2020年より新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、しばらくお休みをしていたこのコンサートが、2年ぶりに開催されることとなりました!

この公演では、お子様に馴染みのある楽曲や、毎回テーマに沿った様々なクラシック音楽を紹介。0歳から本格的な音楽に触れることができ、ファミリーで楽しめることから幅広い世代のお客様から話題を集めています。

松元宏康の指揮、大阪交響楽団の演奏でお届けする今回のコンサートは、復活公演にふさわしく超スベシャル!。だいすけお兄さんの愛称で子供たちからはもちろん、幅広い世代から絶大な人気を誇る横山だいすけがゲスト出演します!

NHK Eテレ『おかあさんといっしょ』では、番組史上歴代最長の9年間、歌のお兄さんを務め上げ、日本中の子供たちに愛されてきた、憧れの存在。子供たちの心をグッと掴む歌とパフォーマン스에、注目が集まります!。だいすけお兄さんと一緒にお子様だけでなくファミリーみんな、楽しく歌いましょう。気になるプログラムは後日発表!コンサートの内容もリニューアルされるので、続報をお楽しみに。

川井郁子 シンフォニック・バレンタイン～愛とスケートの名曲たち～

大切な人と一緒にホットな時間を楽しみたい！
バレンタインデーに贈る、愛に溢れたコンサート

[ヴァイオリン]川井郁子 [弦楽合奏団]U.F.室内アンサンブル

ロドリゴ(川井郁子編曲):レッドヴァイオリン～恋のアランフェス/シューベルト:セレナーデ
/ピアノ:リベルタンゴ/エルガー:愛のあいさつ/モンティ:チャルダッシュ/アーヴィング・
バーリン:ブッティンオンザリッツ/サン＝サーンス:白鳥/チャイコフスキー(川井郁子編曲):ホ
ワイトレジェンド ほか

2022.2/14(月) 7:00PM

全席指定 6,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



クラシック音楽のみならず、ロク
クやポップスのファンの間でも人気
の高い川井郁子が2017年以来、
毎年、ザ・シンフォニーホールで行
う「バレンタインコンサート」が今
年も開催の運びとなった。

近年、各国で人気の高いクラシカ
ル・クロスオーバーの先駆けと言っ
ていい、ジャンルを軽々と超える彼
女の多様かつ幅広い音楽性と巧みな
演奏は、音楽通をうならせる深みと
一般の音楽ファンを楽しませる娯楽
性を兼ね備えている。5回目となる
今回も、誰もがロマンチックな気分
に浸れること間違いなしだ。

バレンタインの当日とあって、演
奏曲目の中心となるのは、ロドリ
ゴ作曲「アランフェス協奏曲」第2
楽章からの「恋のアランフェス」、レ
ドヴァイオリン」や、エルガーの「愛
のあいさつ」といった、愛、がテ
ーマの楽曲群。

さらに、北京冬季五輪の開催期間
中とあって、2014年のソチ五輪
フィギュアスケートのエキシビショ
ンで、羽生結弦選手が採用したこと
で知られる、チャイコフスキーの「白
鳥の湖」がモチーフの名曲「ホワイ
ト・レジェンド」も披露。ダイナミッ
クかつ華麗なステージを展開する。

バレンタインの夜、銘器ストラディ
ヴァリウスで愛を奏で、来場者をゴ
ージャスカットロマンチックに盛り上げ
るステージになりそうだ。

(文 産経新聞編集委員 岡田敏一)

〈名曲シリーズ〉大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.17

名曲の新たな魅力を発見！
川瀬賢太郎がエネルギッシュに届ける

[指揮]川瀬賢太郎

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

発売中

J.S.バッハ(エルガー編曲):幻想曲とフーガ 八短調 op.86/スーク:組曲
「おとぎ話」op.16/ブラームス:交響曲 第1番 八短調 op.68

2022.1/28(金) 7:00PM [2021.5/13の振替公演]

A 5,100円 B 3,100円(税込)

[お問い合わせ] 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール



指揮 川瀬賢太郎



大阪フィルハーモニー交響楽団

ソワレII夜公演に華麗なる管弦
楽の宴へ誘う人気シリーズ。大阪フィ
ルとザ・シンフォニーホールの強力
タッグで名曲をお贈りする「ソワレ・
シンフォニー」が17回目の開催を迎え
る。

指揮は川瀬賢太郎。現在、名古屋フィ
ル正指揮者や、神奈川フィル常任指揮
者を兼任しており、国内を中心に大活
躍中の俊才だ。

演奏するのは、J.S.バッハ(エ
ルガー編)の「幻想曲とフーガ」、ス
ークの組曲「おとぎ話」、ブラームス
の交響曲第1番。「威風堂々」の作曲者
としても知られるエルガーが、J.S.
バッハの有名なオルガン曲を原曲に忠
実に編曲しつつ、打楽器などを効果的
に使うことで華々しさも加えた「幻想
曲とフーガ」。「おとぎ話」は、スロ
ヴァキアの古い民話に基づいた4曲で
構成。作曲者はドヴォルザークの娘婿
にあたり、この作品でも義父に勝ると
も劣らない旋律美とファンタジーを発
揮している。

そして、公演を締め括るブラームス
の交響曲第1番は、その圧倒的な完成
度からベートーヴェンの第10交響曲
とも謳われる傑作。若くして頭角を現
し、先達の伝統を受け継ぎながら、自
らの創意と新境地を切り拓き続けたブ
ラームスの姿は、今の川瀬と重なるの
かもしれない。作品への深い共感と愛
に溢れた一期一会の名演が期待され
る！

(文 渡辺謙太郎)

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソンHM.26 「パリシンフォニー」

ハイドンマラソン快走中! 来春は必聴「パリ編」!
疾走感あふれる魅惑の旋律が心を掴む。

[指揮]飯森範親

[管弦楽]日本センチュリー交響楽団

ハイドン交響曲 第86番 二長調 Hob.I:86 / 交響曲 第87番 イ長調 Hob.I:87 / 交響曲 第82番 八長調 Hob.I:82「熊」

2022.3/31(木) 7:00PM

A 5,000円 B 4,000円 (税込)

[お問い合わせ] センチュリーチケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

一般発売:11月22日(月)



指揮 飯森範親

©山岸 伸

生涯に104曲もの作品を残した「交響曲の父」ハイドン。日本センチュリー交響楽団と首席指揮者の飯森範親が、その全曲を8年もかけて演奏するのが「ハイドンマラソン」だ。2015年からスタートしたが、20年の第19回で後半に折り返した際、会場がザ・シンフォニーホールへ移り、これで第26回目を迎える。

公演テーマは「パリシンフォニー」。これは、作曲者が30年近く仕えたハンガリーのエステルハージ家の楽長を退任後、フランスで新創設されたオーケストラ、コンセル・ド・ラ・オランピックのために書かれた6つの交響曲(第82〜87番)の総称を意味する。今回はその中から、第82、86、87番をお届けする。

ティンパニが活躍する祝祭的な曲想で、第4楽章の冒頭で現れる低音が熊使いの音楽に似ていることから「熊」の副題でも知られる第82番。

「パリシンフォニー」の中で最も編成が大きく、ティンパニだけでなくトランペットも加わることから、実に華々しく聴きごたえのある第86番。そして、躍動と、叙情美が巧みに組み合わされた第87番。

と、このようにハイドンの書法がいよいよ円熟期に入ったことがはっきりとわかる傑作の数々を、同じように熟達を極める飯森&日本センチュリー交響楽団の名演で心ゆくまで酔いしれよう!

(文 渡辺謙太郎)

守山俊吾 傘寿記念コンサート ~マエストロより魂を込めて~

守山俊吾の“音楽人生”を辿る傘寿記念。
徳永二男との共演にも大注目を!

発売中

[指揮]守山俊吾 [ゲスト・ヴァイオリン]徳永二男

[管弦楽]シンフォニア・アルシスOSAKA

ブラームス:交響曲 第1番 八短調 op.68 / チャイコフスキー:バレエ『くるみ割り人形』より「金平糖の精と王子のパド・ドゥ」 ほか

2022.3/10(木) 6:00PM

S 5,000円 A 4,000円 B高校生以下 2,000円 (税込)

[お問い合わせ] 守山俊吾傘寿記念コンサート実行委員会 090-2353-0427

[主催]守山俊吾傘寿記念コンサート実行委員会



ヴァイオリン 徳永二男

指揮 守山俊吾

©ヒダキトモコ

指揮者 守山俊吾は、卓越した音楽性を持ち、ザ・シンフォニーホールでは様々な企画で登場。後進の指導にも努め、デビューの機会を作るなど尽力している。

傘寿(80歳)を迎える守山の指揮者としてのキャリアと発展には、必ず心に残る「出会い」があった。

東欧屈指のソフィア・フィルハーモニック管弦楽団の常任客演指揮者として活動を上げた後、ロシア最高のバレエ指導者ルドルフ・ヌレエフの師、セルゲイ氏に認められ、ロイヤル・ニュージーランドバレエ団との契約に至ったこと。そして、サンクトペテルブルクのバレエカンパニーであるVISIITの公演を指揮した後にマリインスキー劇場のオペラ歌手との共演が続いたことなど……。

今回のコンサートではそんな人生の節目となったエピソードトークを挟みながら、守山俊吾の指揮者紀行のように、展開していく。

スペシャルゲストには元NHK交響楽団首席コンサートマスター 徳永二男を迎える。守山の長年の夢であった徳永との共演が実現できることにこのうえない幸福感をかみしめ、コロンゴルトのヴァイオリン協奏曲を披露。さらに「カンパニーでこぼこ」による豪華なバレエが華を添える。守山より皆様へ贈る感謝の音楽を堪能して頂きたい。なお、オーケストラは、2016年に守山が結成した「シンフォニア・アルシスOSAKA」が登場する。

盛大で華やかかつ、どこかアットホーム!?
ザ・シンフォニーホールならではの大晦日コンサート
2015年から恒例となっていたザ・シンフォニーホールのカ
ウントダウン・コンサート。毎年、豪華な出演者を迎えて開催
してきた。ロビーでは祝い酒がふるまわれるなど、祝賀ム
ードも満載で、音楽とともに華やかな年越しを迎えられること
で、人気を博してきた。終演後は、お客様、出演者、スタッ
フ、全員が感動を一緒に分かち合った一体感が生まれる。
終演後ロビーからは「おめでとー!」「今年もよろしく」という挨拶
も聞こえ、アットホームな温かい雰囲気に。今年は万全
な感染症対策が取れる形にするため「カウントダウン」は実
施しないが、1年の締めくりに相応しく、素敵な新年を迎え
られるような幸せに満ちたコンサートとなるだろう。



豪華すぎるアーティストたちが 一堂に会し、名曲づくしの プログラムをお贈りする

タルも決定している。
テノールの宮里直樹もウイーン
とミラノで学んだ本格派で、オペ
ラにとどまらず、ソリストとして
国内の主要オーケストラとの共演
歴も多数。知性と感性を兼ね揃
えた歌唱で多くのファンを魅了し
ている。
バリトンの大山大輔は、野田
秀樹演出の『フィガロの結婚』や、
手塚治虫原作の歌劇『ブラック・
ジャック』、劇団四季『オペラ座
の怪人』主演での圧倒的な存在
感に加え、役者としても独自の
境地を拓いており、今回の歌唱に
も大きな注目と期待が集まる。
そして、この超個性派&実力派

◆**出演メンバーを紹介!**
宮里…伊藤さんとは今年のお正
月に初めて共演しましたね。
伊藤…《椿姫》で、私はヴィオレッ
タ役を歌い、宮里さんはアルフレ
ード役で共演しました。つい先日

をサポートするのが日本センチュ
リー交響楽団。指揮は、国内外
多くのオーケストラとの共演歴を
持ち、ソリスト、オーケストラか
ら信頼が厚い角田鋼亮。誠実
かつしなやかなタクトでまとめ上
げる、心強いマエストロだ。さらに、
サン・サンス「交響曲 第3番」
では、ザ・シンフォニーホールでは
お馴染みのオルガニスト富田一樹
が登場する。
コンサート開催まであと1か月
半!今号では、出演アーティスト
から、伊藤、宮里、大山、角田の
スペシャルインタビューをお届けす
る。



東京でのコンサ
ーで一緒にしまし
たね。《トスカ》
のカヴァラドツ
シ役で出演され
ていたのですが、
第一声で会場で
を魅了し、お客
さんの心を掴ん
でいたのがわかり
ました。とても

大山…角田さん
はフレンドリーで
とても優しい方
です。何でも受
け止めてくださ
るので、歌手と
してちょっと甘え
すぎてしまうこ

素晴らしかったです!
角田…伊藤さんのお名前は、晴々!
その名前のとおり、周りの人みん
なを晴れやかな気持ちにさせてく
れるお人柄です。歌ももちろん素
晴らしく、ホールで聴くと伊藤
さんの歌声に優しく包まれている
ような心地になります。
宮里…僕は大山さんとは何度か
共演しています。マルチプレーヤー
で、歌っても演技してもかっこいい。
喋っても面白いし、何しても素晴
らしい方です。
台本も書けます
し!



ともあります(笑)。そういえば、
羊の格好をして指揮してくださいっ
たこともあるんですよ。そんなお
茶目なマエストロは滅多にいないと
思います(笑)。
宮里…僕は過去に、大山さんが
書いたオペラ2作品に出演しまし
た。テノールは女性にだらしない
役が多いイメージですが、台本で
もそれがとても強調されています
(笑)。僕の母は、僕の舞台を必
ず見に来るのですが、見られると
ちよつと恥ずかしいな、と思うく
らい(笑)。
角田…でも、大山さんの台本は
みんなをハッピーにできる素敵
な力を持っていますよ!
大山…オペラって、人類にとつ
て超ロングラン作品だと思ってい
ます。でも形式が古くて、現代人
との隔たりを感じることもありま
す。だからこそ、クラシック音楽
を身近に感じていただけるように

ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート 2021

大晦日の
コンサートが
2年ぶりに復活!

The Symphony Hall Silvester Concert 2021



日本センチュリー交響楽団

念願のジルベスターコンサート!!

Interview



バリトン 大山大輔 × テノール 宮里直樹 × ソプラノ 伊藤 晴 × 指揮 角田鋼亮

2021年12月31日という特別
な夜を、大好きな音楽と共に!
欧米の名だたる音楽都市では、
そんな素敵な音楽との付き合い
方が文化として定着しているが、
関西圏ではぜひザ・シンフォニー
ホールへ足を運んでいただきたい。
豪華すぎるアーティストたちが一堂
に会して、名曲づくしのプログラ
ムを一夜にしてお贈りする「ジ
ルベスターコンサート」。
2020年は新型コロナウイルス
感染症拡大のため、惜しくも
開催が見送られた大晦日の一大
イベント。今年は、カウントダウン
の実施はないが、ザ・シンフォニー
ホールが自信を持ってお薦めする
スペシャルコンサートとなる。コ
ロナ禍でも、世界の舞台で日本
アーティストが大きな活躍を見
せている今、本公演でも、これぞ
日本の底力!と実感できる、
オール・ジャパン・メンバーで開
催する。
その豪華すぎる出演者を紹
介しよう。
ミラノとパリで研鑽を積んだソ
プラノの伊藤 晴は、巨匠ジョン・
ミヨンも才能を認める才媛
で、広範なレパートリーを誇りつ、
《椿姫》のヴィオレッタ役や《ラ
ボエーム》のミミ役で成功を収
めている若き正統派。来年3月
にはザ・シンフォニーホールでリサイ



バリトン 大山大輔

テノール 宮里直樹

ソプラノ 伊藤 晴

指揮 角田鋼亮

ある曲ばかりですので、その歌に描かれている情景が皆様にも浮かぶようにお届けできればと思います。

宮里…このプログラムで「オペラ名曲集」ってCDが出来上がりそうですよね！でも歌うのがハードな曲がいっぱい並んでいるなど（笑）。一方で自分も自分が聴き手だったら、これが聴けるなんてうれしい！と思うような魅力的な曲ばかりです。丁寧に二つひとつ大切に、皆様の心に届くように歌っていききたいです。

大山…みんなが言うように、これぞ名曲集、と言えるプログラムなので、このコンサートを聴きに來ていただければ、かなりの数のオペラを網羅できると思います。お客様にはこのコンサートをきっかけにオペラをさらに好きになって頂き、コンサートにたくさん足を運んでくださると思います。

角田…今回、この人にこの曲を歌ってほしい！という作品をセレクトさせていただきました。伊藤さんとはモーツァルトのオペラでご一緒し、最近では《ラ・ボエーム》の《ミミヤ》《椿姫》の《ヴィオレッタ》なども演じていらっしゃいますよね。それから、私は昔から宮里さんのファンで、いろんな舞台を見させていただいています。大山さんは、フィガロのような運動性のある曲



曲演奏に毎年出演していました。父がコンサートから帰ってくるのを待って、年越しそばを夜の3時に家族で食べるのが、大晦日の恒例でした。

創り上げている気持ちになるんですよ。

宮里…とにかく音響がすごく良いので、歌っていてとても気持ちのいいホールですね。角田さんもおっしゃったとおり、ステージとお客様との距離が近いので、一発で自分のやったことに対する反応を近くで感じることが出来ます。

大山…ホールも楽器ですから、最高に良い楽器のひとつとして、とても楽しみです。特にオーケストラといろんなシーンを歌えるのは魅力に感じます。その素晴らしい響きを満喫したいと思います。

伊藤…私は今回初めて、ザ・シンフォニーホールのステージに立つのですが、音響が素晴らしいという皆さんのお話を聞いて、さらに歌えることを楽しみにしています。

◆**それぞれの「大晦日の想い出」**

角田…小学生の頃、東京から名古屋へ移り住んだところが、空から赤い星（隕石）が降ってきたことに由来する町だったので、それを祀っている神社があったんです。大晦日には、近隣の人みんながその神社に集う風習があり、神社まで練り歩いた思い出があります。

伊藤…私は、NHK『紅白歌合戦』を見てから父とお寺へ行ってました。大人になってからは毎年、家族とともに静岡で富士山を見ながら新年を迎えています。

宮里…ヴァイオリニストの父は、岩城宏之さんが大みそかに開催していたベートーヴェンの交響曲全

指宿（鹿児島県）で、池田湖近くに開聞（かいもん）岳という山があるのですが、そこに大晦日の夜中に友だちと出発し、自転車で山を登って開聞（ひらきぎ）神社に初詣に行っていました。かなりの距離を汗だくになりながら登っていました（笑）。

◆**ザ・シンフォニーホールのステージについて**

角田…高級感がありながら、あたたかさも居心地もとても良いです。舞台と客席との距離が近いので、実はお客様の息遣いを感じることもあるんです。演奏してもその反応をダイレクトに捉えてくださるように思えて、一緒に演奏会を



◆**プログラムは名曲づくし！**

角田…《歌劇「ヘンゼルとグレーター」》

一瞬も目が離せない大晦日のエンタテインメント！
オルガニスト 富田一樹も登場！

このコンサートのスペシャルポイントのひとつが、ザ・シンフォニーホールで何度も満員のお客様を魅了してきたオルガニスト 富田一樹が登場し、サン＝サーンス「交響曲第3番」を演奏することだ。ザ・シンフォニーホールが誇るスイス・クーン社製のパイプオルガンを熟知する富田。共演する角田も「指揮者の解釈やオーケストラの楽器に合わせて音色を自在に変化させてくださる」と絶賛。この贅沢な饗宴は見逃さない！

オルガン 富田一樹

自分が聴き手だったら、 “これが聴けるなんてうれしい！”と 思うような魅力的な曲ばかり

テル》序曲からスタートします。八長調で始まり、八長調で終わるプログラムにしました。自分にとって八長調は光の調で、その光でコロンを吹き飛ばしたいという思いを込めています。

宮里…八長調には、絶対的な調という意味もありますよね。

角田…この序曲は、ふたりが眠りに入っていくシーンで幕を開けます。お客さまに良い夢を見ていただきたい…。その後、《フィガロの結婚》のアリア「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」へと続きます。

伊藤…今回のプログラムは、本当に名曲揃いですよね！私にとってはオペラの舞台で歌ったこと

PROGRAM

フアンバーディンク：歌劇「ヘンゼルとグレーター」～「序曲」
モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」
～「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」、「恋人よ、早くここへ」
モーツァルト：歌劇「魔笛」～「なんて美しい絵姿」
ビゼー：歌劇「カルメン」
～「ジプシーの踊り」、「闘牛士の歌」
ブッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」
～「冷たい手を」、「私の名はミミ」
サン＝サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」～「バックナール」
チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」～「ポロネーズ」
ヴェルディ：歌劇「椿姫」
～「ああ、そはかの人か」、「燃える心を」、「プロヴァンスの海と陸」
マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」～「間奏曲」
ヴェルディ：歌劇「リコレット」～「風の中の羽のように（女心の歌）」
ブッチーニ：歌劇「つばめ」～「ドレッタの夢」
ジョルダノー：歌劇「アンドレア・シェニエ」～「祖国の敵」
ブッチーニ：歌劇「トゥーランドット」～「誰も寝てはならぬ」
サン＝サーンス：交響曲 第3番「オルガン付き」より

[指揮] 角田鋼亮 [ソプラノ] 伊藤 晴 [テノール] 宮里直樹 [バリトン] 大山大輔
[オルガン] 富田一樹 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団
[司会] 堀江政生 (朝日放送テレビアナウンサー)

2021.12/31(金) 5:00PM
SS 12,000円 S 10,000円 A 8,000円 B 6,000円 (税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



Interview

トランペッター 菊池寿人

△緊急招集のため、どうしても参加できないレギュラーメンバーが数名います……でもご安心を! 16名の精鋭プレイヤーが吠えまくりです!!



緊急招集 お待たせしました!

ベスト・ヒット・オン・ファイヤー!

The Symphony Hall

Big Band Vol.16

~Music Director 菊池寿人~

Sound Producer 石戸谷 斉

全国で活躍する16名のメンバーを緊急招集!開催まであと1ヵ月!

今号では、ミュージックディレクターを務める菊池寿人のインタビューをお届けします!

多くの人に喜んでもらえることを一番に考えている

煌びやかな庄巻のステージと、心も身体もスウィングするような客席の様子は、いつものザ・シンフォニーホールの雰囲気と一変する。指折りのメンバー16名がそれぞれ、歌い上げ、迫力あるパフォーマンスで魅せてくれるザ・シンフォニーホール・ビッグ・バンド(以下TSHBB)。心待ちにしていたコンサートが約1年半ぶりに開催される。

結成から5年。TSHBBの特徴は、日本では珍しくクラシックホールをホームグラウンドとして活動していること、様々なジャンルの音楽を演奏する点にある。トランペッターで音楽監督を務める菊池寿人は「幼少期から、ポップス、ジャズ、クラシックと、本当に色んなジャンルの音楽を聴きに行きました。小学生の時は、アイドルも(笑)。イージーリスニングというポップスオーケストラが当時流行っていて、その影響もすごく受けているので、あまりビッグ・バンドで演奏されないような曲もチョイスしています」と語る。

今回は「ベスト・ヒット・オン・ファイヤー!」と題して「シング・シング・シング」、映画「007」よりジェームズ・ボンド・メドレーなどワクワクするような名曲

が選ばれた。「マラゲーニャ」というラテンの曲も初めてお披露目する。TSHBBの魅力の一つが、独自のアレンジ力だ。

「クラシック音楽とはまた違って、編曲者の個性が出るから面白いですよ。メンバーとも相談しながら作っていきます。もう一つは、アレンジする人が、誰が演奏するかを分かって書いていますから、例えば「この人とこの人を演奏させたら、こんなハーモニーができるだろう」と思い浮かべながら編曲しているところが、このバンドならではの楽しさですね」

メンバーの中にこのような達人の雰囲気を伝えてオーダーする。「譜面が届くまで、どんな仕上がりになっているか分からないので、何回も演奏している有名な曲でも、めちゃくちゃ難しい曲にもなっていることも。みんな目の色が変わりますね(笑)。多くの人が喜んでもらえることを一番に考えています」

さらにTSHBBにとって、ザ・シンフォニーホールで演奏することは、ほかにはない楽しみがある。「このメンバー独特のサウンドとホールの響きがミックスされて一つの作品が生まれることです。デジタルで音は何とでも作り出せる時代ですが、アコースティック

な倍音の響きは機械では作れません。クラシックホールならではの響きですね」

筆者がビッグ・バンドを初めて聴いた時、身体中からエネルギーが湧き上がるような心地になったことがある。生き生きとしたサウンドに包まれ、限界に挑戦するアスリートのようなメンバーたちのパフォーマンスに惹きこまれた。

「コロナ禍で一年半も活動ができなかったTSHBB。久しぶりにお会いできるお客さんにドキドキとワクワクを与えられるように、そして元気と勇気を持って帰ってもらえるようにしたいです。ため込んだパワーを全開にして、僕たちが燃え尽きてしまっても!? (笑) そんなハラハラ感?も楽しんでもらえたら最高ですね」

今回は初めてゲストを迎えずに、TSHBBのみで演奏する。一人ひとりのメンバーの「歌声」にも注目したい。

「我々がアレンジした中でも迫力ある賑やかな曲を多く選びました。たくさんのお客さまの前で演

どきどき・ワクワク!!
どこまでもエキサイティングできる、
ベスト・ヒット・オン・ファイヤー!!

[出演]The Symphony Hall Big Band

ルイ・プリマ:シング・シング・シング/ジョー・ガーランド:イン・ザ・ムード/ユー・ビー・ブレイク:メモリーズ・オブ・ユー/ニーノ・ロータ:太陽がいっぱい/ジョン・パリー:「映画007 ジェームズ・ボンド・メドレー」James Bond Theme~A View To A Kill~Nobody It Better~Live And Let Die ~For Your Eyes Only~Goldfinger/黒人霊歌:聖者の行進/ビー・ウィー・キング:テネシー・ワルツ/エルネスト・レクオーナ:マラゲーニャ/チック・コリア:スペイン

2021.12/4(土) 2:00PM

全席指定 7,500円 (税込)

[お問い合わせ] 大阪アートエージェンシー 072-648-3852

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

奏できることが一番の楽しみで、私の心をほぐし、明日への活力を届けてくれるだろう。
(取材・文 金子真由)



第九

BEETHOVEN Sinfonie Nr.9 d-moll op.125

ベートーヴェンが亡くなる3年前の1824年に発表した最後の交響曲にあたる第9番。文豪シラーの「歓喜の歌」を歌詞に持つ第4楽章はあまりにも有名だが、長調と短調が交錯する第1楽章も、劇的かつ緻密な第2楽章も、美しく崇高な第3楽章も、実に魅力的。ザ・シンフォニーホールでも「第九」ファンは本当に多く、今年は4つの個性豊かな公演を開催。その聴きどころをご紹介します！

文 渡辺謙太郎

12/26 21世紀の第九



本場ウィーン仕込みの「新・21世紀の第九」

1993年に佐渡裕のタクトで始まった日本センチュリー交響楽団の「21世紀の第九」。この公演は2011年からカナダ出身のケン・シェが指揮を受け継いだ人気シリーズだが、今年は新たな俊才を迎えて開催される！ その白羽の矢の人物が瀬山智博。

大阪府豊中市出身で大阪音楽大学卒業後、ウィーンで研鑽を積んだ彼は、国内外の多数のオーケストラと共演を重ね、佐渡裕プロデュースオペラの副指揮者としても活躍中だ。また、2008年にシェンブルン宮殿歌劇場のモーツァルト・オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」でオペラ指揮者デビューを飾り、翌年の難関ブザンソン国際指揮者コンクールにおいてファイナリストの3人に選ばれたことから、このシリーズを受け継ぐ実力は十二分と言えるだろう。

2年ぶりの開催となる今回は、日本センチュリー交響楽団と豪華歌手陣の好サポートを得ることもあり、昨今のコロナ禍を振り返り、新たな年へ力強く進むための道しるべとなるような「21世紀の第九」に大いに期待しよう!!

[指揮]瀬山智博
[管弦楽]日本センチュリー交響楽団
[合唱]日本センチュリー合唱団
[ソプラノ]北野加織 [アルト]梶谷栄里子
[テノール]中井亮一 [バリトン]萩原寛明

発売中

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125

2021.12/26(日) 2:00PM

A 6,000円 B 4,500円 C 売切 (税込)

[お問い合わせ] ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[主催]ABCテレビ

12/19 第九 de クリスマス



バロックと古典の名曲を一挙にプレゼント

ザ・シンフォニーホールのクリスマスの風物詩「第九deクリスマス」が、コロナ禍を越えて喜ばしく開催される。

演奏は延原武春が指揮するテレマン室内オーケストラ&合唱団と名歌手だ。1963年創設のこの団体は、古楽器を用いた18世紀音楽を専門に演奏。過去にドイツ文化省の招聘で4度ドイツに渡って演奏したことがあり、本場の評価も高い実力派として知られている。そして、延原が1982年から行っている「100人の第九」は、初演当時の編成とテンポに忠実に従うアプローチで、ジョン・エリオット・ガーディナーやクリストファー・ホグウッドといった古楽を代表する巨匠から高く評価され、録音を切望されていたというから凄い。この名物企画の実施は2年ぶり!心待ちにしていたファンは、まさに「歓びの歌」を体験することができるだろう。

「第九」を演奏後は、ヴィヴァルディ、J.S.バッハ、ヘンデル、カッチーニなどのバロック名曲も多数演奏。一足早いクリスマス・プレゼントにぜひ!!

[指揮]延原武春 [管弦楽]テレマン室内オーケストラ
[合唱]テレマン室内合唱団
[ソプラノ]六車智香 [アルト]渡邊由美子
[テノール]鹿岡晃紀 [バリトン]篠部信宏

発売中

【第1部】100人の第九 ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125 【第2部】テレマンのクリスマス名曲集 テレマン:「3つのトランペットとティンパニのための協奏曲」より 第1、2楽章/J.S.バッハ:G線上のアリア/Vivaldi:ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「春」第1楽章/J.S.バッハ:カンタータ「目覚めよ、と呼ぶ声あり」BWV.140より 第4曲コラール/ヘンデル:オラトリオ「メサイア」より「パストラル」/カッチーニ:アヴェ・マリア/クリスマス・キャロル:「もろびとこぞりて」「神の御子は今宵しも」

2021.12/19(日) 1:30PM

A 5,500円 B 4,500円 C 売切 (税込)

[お問い合わせ] ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[主催]ABCテレビ

12/12 井上道義 指揮 躍動の第九



最強タッグが贈る一期一会の「躍動の第九」

大阪フィルと井上道義との共演で過去にも大好評を博した人気シリーズ「躍動の第九」が徐々に帰ってくる。この最強タッグは、これまでに何度も一期一会の「第九」を実現してきた。中でも、2015年12月の公演では、終演後にオーケストラが退場すると舞台が暗くなり、壇上後方に残った大阪フィル合唱団が緑色のペンライトをかざしながら「蛍の光」を歌った感動の光景も今でも忘れられない。

そんな井上&大阪フィルの十八番が再びこの地へ。井上のベートーヴェンに寄せる想いは格別で、持ち前の踊るように鮮やかな指揮で、静謐と狂乱を絶妙なバランスで描き出してゆく。今年75歳を迎える井上だが、聴き手はそれを信じられないほどの若々しさと完全燃焼を目の当たりにすることだろう。

ソプラノの高橋絵理、アルトの鳥谷尚子、テノールの宮里直樹、バリトンのデニス・ビシュニャという名歌手と共に、コロナの苦悩を乗り越えている“今”にこの上なくふさわしい「躍動の第九」を聴かせてくれるはずだ!!

[指揮]井上道義
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団
[合唱]大阪フィルハーモニー合唱団
[ソプラノ]高橋絵理 [アルト]鳥谷尚子
[テノール]宮里直樹 [バリトン]デニス・ビシュニャ

発売中

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125

2021.12/12(日) 2:00PM

A 7,000円 B 5,000円 C 売切 (税込)

[お問い合わせ] ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[主催]ABCテレビ

12/11 関西フィルハーモニー管弦楽団 「第九」特別演奏会



アルメニアの俊才が描く新境地に期待大

コロナ禍を経て、満を持して開催! オケストラ独自の“顔”と“心のこもった音楽”を追求し続ける関西フィルの「第九」を指揮するのは、現在世界的に注目を集める俊才ヴァハン・マルディロシアンだ。1975年アルメニア生まれの彼は、イヴリー・ギトリス、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ルノー&ゴディエ・カブゾン兄弟、前橋汀子をはじめとした世界的名手の共演ピアニストとして名を馳せた後、少年時代から夢だったという指揮者の道へ。

2019/20年シーズンからは香港市室内管弦楽団の首席指揮者を務めている。14年に初来日して以来(指揮者として)、関西フィルをはじめとした日本のオーケストラと数多く重ねており、国内での人気と知名度を着実に高めていることは周知の通りだ。彼はまた、現代音楽に造詣が深く、ピアニストとしての持ち味である知的で繊細な音楽性が、指揮活動にも良い形で投影。今回は歌手陣にもソプラノの並河寿美やバリトンの与那城敬ら名手が集うので、冬の大阪で「第九」の新境地が存分に示されることだろう。

[指揮]ヴァハン・マルディロシアン
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団
[合唱]関西フィルハーモニー合唱団
[ソプラノ]並河寿美 [アルト]福原寿美枝
[テノール]藤田卓也 [バリトン]与那城敬

発売中

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調「合唱付」op.125

2021.12/11(土) 2:30PM

S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 (税込)

[お問い合わせ] 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911

[主催]公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団



聴き手を幸福感で包みこむ、
優しく暖かい歌声

アヴェ ヴェ マリア

～聖夜と月～
砂川涼子
ソプラノ・リサイタル

彼女の歌はいつも
とてもなめらかな心地よい

砂川涼子の歌は心に染み入る。それもかなり強く、深く。その理由は、はっきりしている。ひとつは、天性の資質をまっすぐに伸ばし、ミラノやローマへの留学で磨きかけた盤石の歌唱にある。彼女の歌はいつも、深く発せられた声で自然に息に乗せられるので、とてもなめらかな、心地よい。また、言葉に対する感覚がイタリア語でも、それ以外の言語においても透徹している。

そして、もうひとつ。端正に歌われる美しい歌が、持ち前の抒情的な美声で彩られているということだ。ただ、その声に包まれるだけで幸福感が得られるような、暖かく、やわらかい美声。

砂川は紹介文などに、「日本を代表するプリマドンナ」と書かれることが多い。事実、オペラの舞台では常に、圧倒的な賞賛を浴びてきた。それは右に記したような完成された美しい歌で、人物の心模様を縦横無尽に描く力があるからだが、さらにそこに、聴き手を幸福にする暖かい声加わることから、客席はもはや、征服されるほかないのである。

自然な笑顔が物語る人柄のよさがにじみ出た、チャイミングで可憐な舞台姿の魅力にも、触れない

団、司会を堀江政生、八塚彩美（ともに朝日放送テレビアナウンサー）が務めるので、本家さながらの豪華公演が実現する。

そして、注目の出演歌手と演目をまずは紅組から。

宝塚音楽学校でも指導にあたる名手木澤佐江子（ソプラノ）は、ベッリーニ「清らかな女神よ」を歌唱。他にも、ヨーロップで長年活躍した古田昌子（メゾソプラノ）が歌うロッシーニ「ひどい運命よ」、4年連続で紅組のキャプテンを担う斉藤言子（ソプラノ）による充実のヴェルディ「アヴェ・マリア」など、ポイントが盛り沢山だ。

続く白組も、モーツァルトのオペラリスト近藤勇斗（テノール）が織細かつ高らかに歌う「恋人を慰めて」。歌手としての多彩な活躍だけでなく、オペラ演出にも手腕を揮う清原邦仁（テノール）によるヴェルディ「燃える想い」もおお、なんと「恥辱」。ドイツ音楽の大御所で白組キャプテンの田中勉（バリトン）は十八番、シューベルト「魔王」を披露する

昨年が熱戦の末、紅組が勝利したが、今年の歌合戦も拮抗することが予想され、最後まで目が離せない。聴き手であるお客様の投票が勝利を大きく左右する、魅惑の参加型公演なので、ぜひともご来場いただきたい!!

（文 渡辺謙太郎）



発売中

[ソプラノ]砂川涼子 [ピアノ]河原忠之

ベッリーニ:優雅な月よ/喜ばせてあげて/マスカーニ:月/アヴェ・マリア/フォーレ:月の光/夜明け/ブッチェリ:歌劇「ラ・ボエーム」より「私の名はミミ」/沼尻竜典:歌劇「竹取物語」より「姫のアリア」/ドヴォルザーク:歌劇「ルサルカ」"月に寄せる歌"/リー・ハーライン:星に願いを/加藤昌則:On the Christmas Day～クリスマスドレー～ ほか

2021.12/18(土) 7:00PM
全席指定 4,400円(税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[主催] ザ・シンフォニーホール

くような声が、なおさら聴き手の心に染み入るはずだ。

オペラの舞台で何度も圧倒的な拍手をさらってきた「ラ・ボエーム」の「私の名はミミ」、ため息が出るほど美しい「ルサルカ」の「月に寄せる歌」も、砂川の声でこそ聴きたいアリアだ。また、「竹取物語」の「姫のアリア」では、定評ある日本語歌唱の美しさに酔いしれたい。そして、「星に願いを」や「クリスマスマドレー」で聖なる気分が包まれる。

終演後は、夜空の月の清冽な美しさが、砂川の声の残響とともに、心に温かく染みわたる。そんな特別な時間が約束されている。

（文 香原斗志）



スター歌手ぞろいの夢の対決！
今年も熱戦が予想される

これを聴かなければ年を越せない！そんな声が多数上がるほど年末の風物詩として定着した「オールスター 紅白オペラ歌合戦」。日本を代表するベテラン＆若手の人気オペラ歌手が、所属団体の垣根を越えてザ・シンフォニーホールに大集結。男女が紅組と白組に分かれて、オペラ史に残る名アリアや名重唱を披露し、最後は客席も加わって勝負を決定する。

この注目の大型企画が始まったのは2018年のことで、4回目の開催を迎える。今回の出演歌手は総勢18名。伴奏を鈴木恵里奈の指揮で日本センチュリー交響楽

●紅組
[湯浅 契]ヴェルディ:歌劇「ドン・カルロ」より「世の空しさを知る神」/[斉藤言子]ヴェルディ:歌劇「オテロ」より「アヴェ・マリア」/[白石優子]ワーグナー:歌劇「タンホイザー」より「この厳かな広間」/[木澤佐江子]ベッリーニ:歌劇「ノルマ」より「清らかな女神よ」/[泉 貴子]ヴェルディ:歌劇「アイダ」より「勝つて帰れ!」/[古田昌子]ロッシーニ:歌劇「アルジェのイタリヤ女」より「ひどい運命よ!」/[梨谷桃子]ヴェルディ:歌劇「イル・トロヴァトーレ」より「穏やかな夜」/[吉岡仁美&堀口莉絵(二重唱)]チレア:歌劇「アドリアーナ・ナルクヴール」より「さあ、返事がないわ」 ※順不同

●白組
[清原邦仁]ヴェルディ:歌劇「椿姫」より「燃える想い～おお、なんとこの恥辱」/[近藤勇斗]モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より「恋人を慰めて」/[秋本靖仁]ドニゼッティ:歌劇「連隊の娘」より「ああ!友よ、なんと嬉しい日!」/[伊藤友祐]ヴェルディ:歌劇「椿姫」より「プロヴァンスの海と陸」/[田中 勉]シューベルト(リスト編):歌曲「魔王」/[東 平間]ヴェルディ:歌劇「仮面舞踏会」より「お前こそ心を汚すもの」/[湯浅貴斗]グノー:歌劇「ファウスト」より「眠ったフリをせずに」/[小笹谷哲男&萩原寛明(二重唱)]ヴェルディ:歌劇「ドン・カルロ」より「われらの胸に友情を」 ※順不同

[司会]堀江政生(朝日放送テレビアナウンサー)
八塚彩美(朝日放送テレビアナウンサー)
[指揮]鈴木恵里奈 [管弦楽]日本センチュリー交響楽団

2021.12/28(火) 3:00PM
S 8,800円 A 7,700円(税込)
[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール
[協力] 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団 / 公益社団法人関西二期会 / 特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団
[後援] 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

発売中

ザ・シンフォニーホール クリスマス オルガンコンサート 2021

今冬は富田一樹のオルガンを堪能！
ひと足早くクリスマスムードを味わう。

[オルガン]富田一樹

T.スザート:「舞曲集」より/W.A.モーツァルト:アヴェ・ヴェルム・コルプス/S.バーバー:
アダージョ/富田一樹:変奏曲「ひいらぎ飾ろう」/J.S.バッハ:パストラーレ へ長調
BWV590. いざませ. 異邦人の救い主 BWV659. イエス. 我が喜び BWV610. 前
奏曲とフーガ長調 BWV541

2021.12/4(土) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。

全席指定 2,200円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中



「倍音を豊かに構成できる」バッハ音楽が映えるのだという。教会の大聖堂の響きにも負けないこのホールで、クリスマス気分を味わおう！

「倍音を豊かに構成できる」バッハ音楽が映えるのだという。教会の大聖堂の響きにも負けないこのホールで、クリスマス気分を味わおう！

今年のプログラムは、クリスマススの雰囲気とともにパイプオルガンの魅力を活かすに堪能できる曲目が揃う。バッハの音楽を大切にしていきたいという富田は、後半でバッハを4曲披露する。クリスマスにまつわるコラールなどの「明るさのある煌びやかな曲でクリスマス祝祭的な雰囲気」と富田が語る《前奏曲とフーガ長調》でプログラムを結ぶ。

また、バーバーの《アダージョ》の富田による編曲版は世界初演。作編曲することで「作曲者の気持ちに寄り添うことができる」と語る。

ザ・シンフォニーホールの人気シリーズ「クリスマスオルガンコンサート」が今年も開催される。演奏者は、大阪が世界に誇るオルガニスト、富田一樹。2016年のバッハ国際コンクールで日本人として初優勝を飾った気鋭だ。オルガンに魅せられたのは中学生の頃。バッハのオルガン曲のCDを聴き、「多彩な音色とパイプの発音の良さ」に心惹かれ、パイプオルガンを学び始めた。富田が学生時代を過ごしたリユーベックは、北ドイツのオルガンの聖地だ。「クリスマス」の時期はものすごく寒かったけれど、クリスマスマーケットへ行って、友だちとホットワインを飲みながらおしゃべりしていた」と当時を振り返る。

(文 道下京子)

古澤 巖×ベルリン・フィルハーモニック スtrings 「愛のクリスマス」

ベルリン・フィルの名手たちと2年ぶりの饗宴
ファン待望のプレミアムコンサート！

[ヴァイオリン]古澤 巖

[弦楽アンサンブル]ベルリン・フィルハーモニック スtrings

ロベルト・ディ・マリーノ:マリーノコンチェルト第6番/マックス・ブルッフ:スコットランド幻想曲/エンニオ・モリコーネ:The Ecstasy of Gold ほか

2021.12/17(金) 2:00PM

S 7,500円 A 6,000円(税込)

[お問い合わせ]キョードーインフォメーション 0570-200-888

[主催]NHKエンタープライズ中部/ザ・シンフォニーホール

発売中



ベルリン・フィルハーモニック スtrings

ヴァイオリン 古澤 巖

プロゲラムはクラシックから映画音楽、さらには古澤の盟友でイタリアの現代作曲家ロベルト・ディ・マリーノによる協奏曲など、バラエティにとんだ選曲となった。ソロが大活躍するブルッフの「スコットランド幻想曲」は、リリカルなヴァイオリンの魅力味わえる古典名作だ。そして誰もが一度は耳にしたことのある巨匠エンニオ・モリコーネの映画音楽。古澤は子供の頃からずっと好きだったという。惜しくも昨年亡くなったモリコーネへの追悼の意味も込め、マリーノによる名編曲で、『続・夕陽のガンマン』の邦題で知られる名画の音楽がとりあげられるから楽しみである。

トレドマークの帽子姿でにこやかに舞台上立つ。だがひとたび弦に弓が触れるとそこから、熱い音楽がほとばしる。幅広いファンに支持されてきたヴァイオリニストの古澤巖。クラシックからポピュラー音楽まで自在に奏でるエンターテイナーの古澤によって、ヴァイオリン音楽の素晴らしさに目覚めた人も多いたのではないだろうか。

クリスマスも近づく12月17日のザ・シンフォニーホールで、ベルリン・フィルの名手たち5人と極上の音色を奏でるコンサートが開催される。古澤の使用楽器は1718年製のストラディヴァリウス。かのマリー・アントワネットの専属音楽家も弾いたという名器だ。数々の演奏家から賞賛されてきたザ・シンフォニーホールの良質の空間で、いにしえの輝きよみがえる。

(文 伊藤制子)

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ プロジェクトマッピングコンサート

～音と光が誘うジョン・ウリアムズの世界～

[指揮]齋藤友香理 [吹奏楽]オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ

「レイダース/失われたアーク《聖櫃》」より「レイダース・マーチ」/「ジュラシック・パーク」より「サウンドトラック・ハイライト」/「ハリリー・ポッターと賢者の石」より「ヘドウィグのテーマ、ハリリーの不思議な世界」/20世紀FOXファンファーレ/「スター・ウォーズ」コンサート・セレクション/「スター・ウォーズ/ファントム・メナス」より「運命の戦い～アナキンのテーマ、フラッグ・パレード」/「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」より「レジスタンスのマーチ、レイのテーマ、Xウィングのためのスケルツォ、ジェダイへの階段～フィナーレ」ほか

2021.12/9(木) 7:00PM

全席指定 4,000円(税込)

[お問い合わせ] Shionチケットセンター 0800-919-5508

[主催]公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

名作映画のテーマ曲が満載!
煌びやかな光とスリリングな
音楽の素敵な世界へ



指揮 齋藤友香理



オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ

©飯島 隆

日本で最も長い歴史を持つ吹奏楽団、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ(以下Shion)。定期公演以外の企画をザ・シンフォニーホールで行うのは約1年半ぶり。今回は、プロジェクトマッピングとのコラボが実現する!

演奏されるのは、ステイヴン・スピルバーグやジョージ・ルーカスをはじめとしたハリウッド映画の音楽を数多く手がけてきたジョン・ウリアムズの美しくスリリングな名旋律。「スーパーマン」「インディ・ジョーンズ」「スター・ウォーズ」といったウリアムズの古典とも言える20世紀の傑作はもちろん、「ハリリーポッター」など21世紀に入ってから発表された音楽と、盛りだくさん。中でも、デイズ・ニ映画製作としては初の「スター・ウォーズ」ということで話題になった「フォースの覚醒」の音楽が数多く演奏されるのも嬉しい。

指揮を務めるのは齋藤友香理。若手指揮者の登竜門「ザンソン国際指揮者コンクール」で、聴衆とオーケストラが選ぶ最優秀賞に輝き、現在は本場ドイツを拠点に活躍する俊才だ。いかなる共演相手ともお互いが納得するまで徹底的に話し合うという彼女が、今回Shionとどのような対話を繰り広げ、プロジェクトマッピングの新境地を切り拓くかに大きな期待が高まる!!

(文 渡辺謙太郎)

ニューイヤー祝祭コンサート 2022

オペラアリアとバレエの饗宴 Vol.7

新春を告げる華やかな
オペラ・アリアとウイナー・ワルツ

[出演]平井富司子/西側真理子/末廣亜矢子/中村あゆみ/中本棕子/西畑賀世/山田千尋/Ono Aki [バレエ]カンパニーでこぼこ [指揮]守山俊吾
[管弦楽]ニューイヤー祝祭オーケストラ

J.シュトラウスII世:「美しく青きドナウ」/【バレエ名場面集】ミンクス:「ドン・キホーテ」/オッフェンバック:「パリの喜び」/橋本國彦:お六娘/カッチーニ:アヴェマリア ほか

2022.1/3(月) 2:00PM ※3歳から入場可能

S 6,000円 A 5,000円 B(中学・高校生席) 3,000円(税込)

※3歳から小学生までは3,000円(S席限定/保護者(S席)の同伴が必要です)

※B席は中学生~高校生に限りです

[お問い合わせ]ミュージック・アート・ステーション 06-6836-7067 [主催]国際交流協会

発売中



ザ・シンフォニーホールの年始恒例となっている『ニューイヤー祝祭コンサート』は、今年で7回目を迎えます。はじめに世界の平和を願い、カッチーニの「アヴェ・マリア」、そしてワルツ「美しく青きドナウ」では高貴なウィーンの宮廷のような美しいバレエをお届けします。また、ソプラノによる円舞曲「春の声」も、ニューイヤーらしいプログラム。海外でも活躍する8名の歌姫による《アリアの饗宴》では、プッチーニの不朽のオペラ「蝶々夫人」「トスカ」「ヴェルディの「アイーダ」「椿姫」の珠玉のアリアを披露します。超絶技巧を要するドニゼッティ「ラ・メルモールのルチア」より「狂乱の場」もご期待ください。橋本國彦作曲による日本歌曲も聴きどころです。

さらに19世紀のバレエ作曲家ミンクスによる「ドン・キホーテ」のバ・ド・ドウ、華やかなパリの社交界を描いたオッフェンバック作曲「パリの喜び」ほか。

演奏は気鋭のメンバーが集結した「ニューイヤー祝祭オーケストラ」、指揮はオペラ、バレエ共に造詣が深い守山俊吾。

大人の同伴者と一緒にのお子様は3歳からご入場いただけます。感受性の一番豊かな時期に最高の音響を誇る殿堂でオペラとバレエのパフォーマンスを、ご家族皆様でお楽しみください。